

平成 30 年度 第 7 回 治験審査委員会 議事要旨

開催日時・開催場所	平成 30 年 10 月 15 日 17 時 27 分 ～ 17 時 48 分 医療法人創起会 くまもと森都総合病院 5 階会議室
出席者	西村令喜、鈴島 仁、吉田 健、橋口清明、山田邦夫、犬童克也、和泉 孝、 岩橋奈穂美、山本典夫、西 遵子、伊藤純子、

(1) 前回議事録の確認

平成 30 年度第 6 回治験審査委員会議事録の確認を行った。

(2) 治験の進捗状況の報告

治験事務局より、各治験の実施状況が報告された。

(3) 継続審議

議題①：中外製薬株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象とした RO5304020 と RO4368451 の第Ⅲ相試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(1 件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題②：中外製薬株式会社の依頼による RO4368451(Pertuzumab)と Ro45-2317(Trastuzumab)の早期乳がんを対象とした第Ⅲ相試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(1 件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題③：日本イーライリリー株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象とした第Ⅲ相試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(2 件)及び治験実施状況報告書(1 件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題④：ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による非アルコール性肝炎（NASH）に対する Selonsertib の第 3 相試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(1 件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑤：ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による代償性肝硬変を有する非アルコール性肝炎（NASH）に対する Selonsertib の第 3 相試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(1 件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑥：日本イーライリリー株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象とした Baricitinib の長期安全性及び有効性を検討する多施設共同第Ⅲ相試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(1件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑦：YLバイオロジクス株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象とした YLB113 の第Ⅲ相試験(継続)

審議内容：安全性情報等に関する報告書(1件)、治験に関する変更申請書(1件)及び治験実施状況報告書に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑧：アッヴィ合同会社の依頼によるメトトレキサート (MTX) の使用経験のない中等症から重症の活動性関節リウマチ患者における ABT-494 の1日1回投与による単独療法と MTX 単独療法との第Ⅲ相無作為化二重盲検比較試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(2件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑨：アッヴィ合同会社の依頼によるメトトレキサート (MTX) で効果不十分な中等症から重症の活動性関節リウマチ患者における ABT-494 単独療法と MTX との第Ⅲ相無作為化二重盲検比較試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(2件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題⑩：再発又は難治性成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL) 患者を対象とした HBI-8000 経口投与の有効性及び安全性を評価する第 2b 相非盲検単一群試験

審議内容：安全性情報等に関する報告書(1件)及び治験に関する変更申請書(1件)に基づき治験継続の妥当性について審議した。：

審議結果：承認

(4)報告事項

①日本イーライリリー株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象とした第Ⅲ相試験において、逸脱に関する報告書(西暦 2018 年 9 月 20 日)が提出されたことが報告された。

②GSK の依頼による B 型慢性肝疾患の患者を対象としたテノホビルの製造販売後臨床試験において、試験依頼者情報 別紙 1 (西暦 2018 年 9 月 4 日)が提出されたことが報告された。

③中外製薬株式会社の依頼による前治療なしの HER2 陽性転移性乳癌患者における Pertuzumab + Trastuzumab + Docetaxel とプラセボ + Trastuzumab + Docetaxel の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照比較試験において、オフィス移転のご案内 (西暦 2018 年 9 月吉日)が提出されたことが報告された。

④日本化薬株式会社の依頼による進行又は再発乳癌患者を対象とした NK105 とパクリタキセルを比較するランダム化第Ⅱ相試験において、治験実施計画書からの逸脱に関する報告書（西暦 2018 年 9 月 13 日）が提出されたことが報告された。

⑤IQVIA サービシーズ ジャパン株式会社の依頼による再発又は難治性成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL) 患者を対象とした HBI-8000 経口投与の有効性及び安全性を評価する第 2b 相非盲検単一群試験において、「治験実施計画書補遺－試験実施体制 別紙 B 実施医療機関及び治験責任医師一覧」変更点一覧（西暦 2017 年 10 月 6 日, 2018 年 4 月 13 日, 2018 年 7 月 25 日）が提出されたことが報告された。

⑥ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による代償性肝硬変を有する非アルコール性肝炎 (NASH) に対する Selonsertib の第 3 相試験において、治験実施計画書 別冊第 6.0 版（西暦 2018 年 9 月 4 日）及び Note to File（西暦 2018 年 8 月 21 日）及び逸脱報告書（西暦 2018 年 9 月 10 日）が提出されたことが報告された

⑦ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による非アルコール性肝炎 (NASH) に対する Selonsertib の第 3 相試験において、治験実施計画書 別冊第 6.0 版（西暦 2018 年 9 月 4 日）、Note to File（西暦 2018 年 8 月 21 日）が提出されたことが報告された。

⑧EA ファーマの依頼による E6011 の第Ⅱ相試験において、治験終了報告書（西暦 2018 年 9 月 20 日）が提出されたことが報告された。

(5) 次回の IRB について

次回の IRB は、平成 30 年 11 月 19 日（火）17:30 から開催することとなった。